添付資料6

令和6年度

対馬市海岸漂着物モニタリング調査報告書（概要版）

令和7年2月

有限会社　つしまエコサービス

詳細なデータおよび報告事項は報告書および添付資料・提出データに記載し、ここでは本年度の調査結果について主要な結論や、特徴的な事柄について記した。
本書は調査報告書および添付資料、報告書巻末のSSDに収録したデータの内容を反映している。

モニタリング調査の目的

調査によって明らかにすること

- 漂着ごみの**総量**
- 漂着ごみの**構成割合**
- 漂着ごみの**増減**
- 漂着ごみの**排出起源**

漂着ごみ対策への反映

- **発生抑制**
- **回収処理**
- **管理・監視体制の構築**

情報の共有により

- **技術開発**
- **効果の検証**
- **認識の共有**

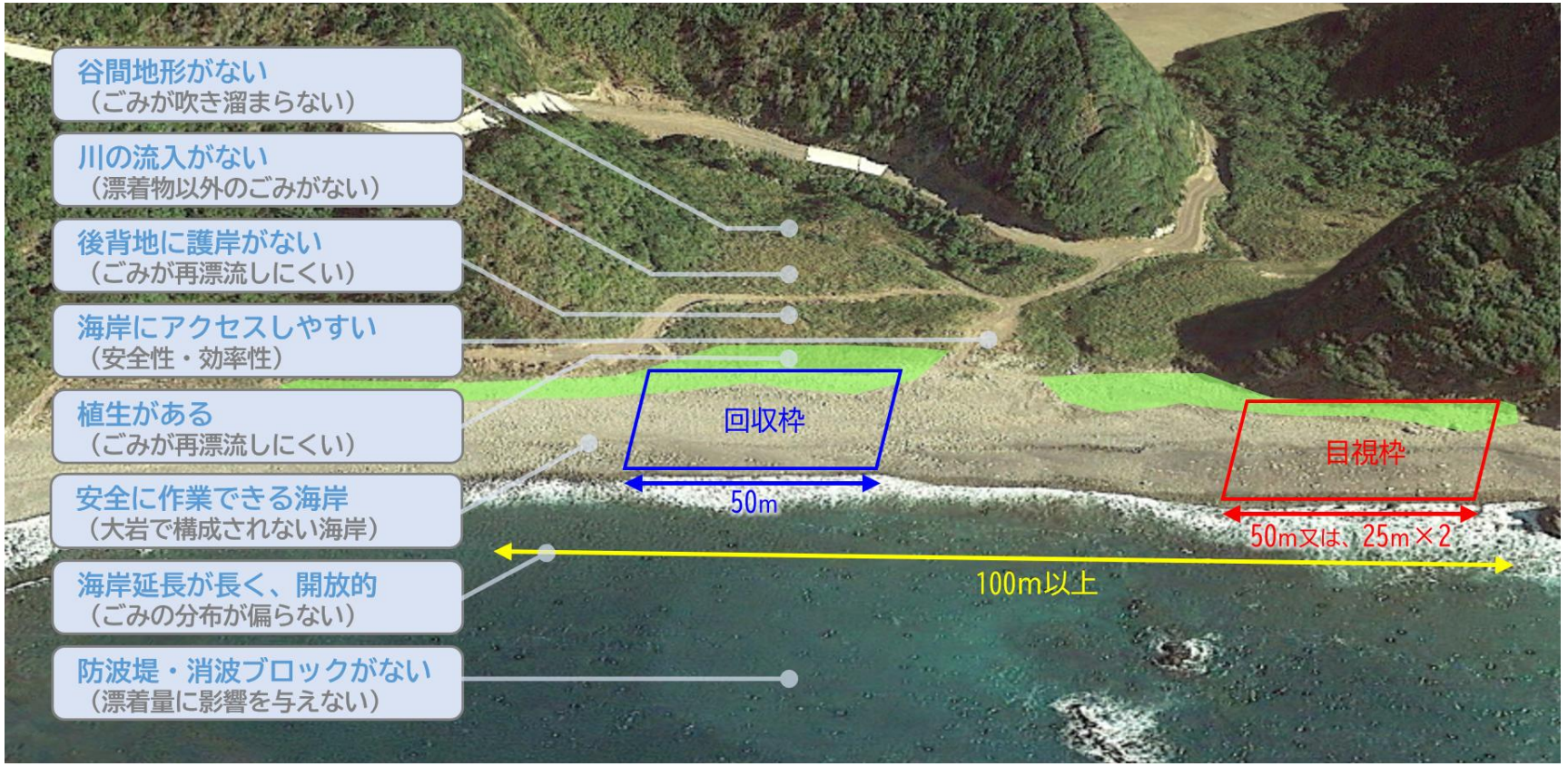
に資する

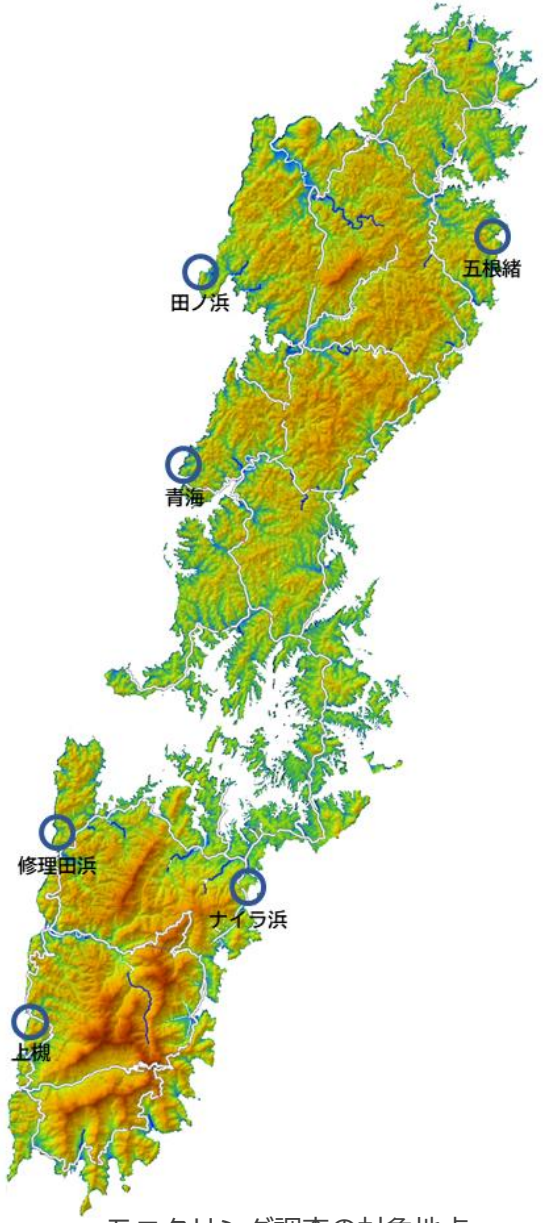
1　調査方法

2　調査結果

3　考察

平成25年度に、現地踏査および航空写真から**選定条件に基づき**、
モニタリング調査の対象海岸（島内6地点）が選定された。





モニタリング調査の対象地点

調査方法＞調査時期の設定と過年度の調査実施状況

過年度と同様に、漂着ごみ数量の**季節による変動を把握**するため、およそ3か月ごとの春夏秋冬の時期に、
年4回の調査を実施した。冬季調査時には目視枠内のリセット回収を実施し、目視枠内のごみを分別・計量した。

これまでのモニタリング調査の実施状況

年度	調査回	時期	調査期間			調査の実施状況、特記事項
2013	第1回	秋季	11/16	～	11/19	6地点リセット（回・目）
	第2回	冬季	02/01	～	02/04	
2014	第3回	春季	05/28	～	06/01	
	第4回	夏季	8/27	～	8/31	
	第5回	秋季	10/4	～	10/25	
	第6回	冬季	2/4	～	2/11	
2017	第7回	春季	7/18	～	7/24	西４地点リセット（回・目）
	第8回	夏季	8/27	～	8/31	西４地点のみ調査
	第9回	秋季	11/18	～	11/23	西４地点のみ調査
	第10回	冬季	1/11	～	1/15	西４地点のみ調査
2018	第11回	春季	6/24	～	6/27	東2地点リセット（回・目）
	第12回	夏季	8/19	～	8/21	
	第13回	秋季	10/3	～	11/29	
	第14回	冬季	1/20	～	1/24	
2019	第15回	春季	5/28	～	6/1	
	第16回	夏季	8/27	～	8/31	
	第17回	秋季	10/4	～	10/25	
	第18回	冬季	2/4	～	2/11	
2020	第19回	春季	7/18	～	7/24	
	第20回	夏季	8/27	～	8/31	
	第21回	秋季	11/18	～	11/23	
	第22回	冬季	1/11	～	1/15	
2021	第23回	春季	6/24	～	6/27	
	第24回	夏季	8/19	～	8/21	
	第25回	秋季	10/3	～	11/29	
	第26回	冬季	1/20	～	1/24	
2022	第27回	春季	5/18	～	6/1	
	第28回	夏季	8/17	～	8/27	
	第29回	秋季	11/17	～	12/9	
	第30回	冬季	1/16	～	1/20	
2023	第31回	春季	5/23	～	6/2	
	第32回	夏季	8/28	～	9/7	
	第33回	秋季	11/20	～	11/28	
	第34回	冬季	1/15	～	1/23	リセット（目）
2024	第35回	春季	5/21	～	5/25	
	第36回	夏季	8/5	～	8/10	
	第37回	秋季	10/24	～	10/31	
	第38回	冬季	1/7	～	1/12	リセット（目）

全地点で調査が実施されている場合は実施状況の欄に特記していない

過年度モニタリング調査からの主な変更点

過年度

■比較的簡便な方法による調査（H25～）

地点数　　：**5地点**（田ノ浜、青海、上槻、五根緒、ナイラ浜）
頻度（時期）：年4回（春季・夏季・秋季・冬季）
組成調査　：**27種類に分類**し、**容量・重量**を計測
国別分類　：**3品目**について表記言語等から発生国を調査

■環境省ガイドラインに沿った調査

地点数　　：**1地点**（修理田浜）
頻度（時期）：年4回（春季・夏季・秋季・冬季）
組成調査　：**99品目**に分類し、**個数・容量・重量**を計測
国別分類　：**3品目**について表記言語等から発生国を調査

本年度

■環境省ガイドラインに沿った調査

地点数　　：**6地点**（田ノ浜、青海、修理田浜、上槻、五根緒、ナイラ浜）
頻度（時期）：年4回（春季・夏季・秋季・冬季）
組成調査　：**104種類**に分類し、個数・容量・重量を計測
国別分類　：**11品目**について表記言語等から発生国を調査

■固定カメラによる海岸の定点観測（タイムラプス動画作成）
地点：モニタリング調査対象海岸（６地点）
撮影期間：４季（春季、夏季、秋季、冬季）の期間、毎日撮影
撮影時間帯：6：00～19：00（撮影可能な明るい時間のみ）
撮影間隔：５分に１回写真を撮影
写真解像度：FHD（1920×1080ピクセル）

■その他、記録内容の拡充等
冬季調査時に目視枠のリセット回収実施（ごみ数量を実測）、回収枠周辺のごみを回収・計量、回収前後の海岸ドローン撮影、回収作業の様子をタイムラプス撮影、分析品目ごとに高解像度写真（9248×6936ピクセル）を撮影、など

1　調査方法

2　調査結果

3　考察

本年度調査では、**回収枠内のごみ（2.5㎝以上）**のほか、風の影響により海岸内を移動して回収枠に流入するおそれのある**回収枠周辺（枠から5m以内の範囲）のごみ（およそ15㎝以上）**を回収し、これに加えて冬季に**目視枠内のごみ（2.5㎝以上）**を回収し、数量を計測した。

本年度調査における漂着ごみの回収量（容量）

単位：L

時期	区分/地点	田ノ浜	青海	修理田浜	上槻	五根緒	ナイラ浜	地点計
春季	回収枠	1,836	8,193	5,474	6,559	3,314	548	25,923
	枠外	1,009	1,166	1,169	1,388	1,415	0	6,146
	時期計	2,845	9,358	6,642	7,947	4,729	548	32,069
夏季	回収枠	2,946	3,458	7,248	1,280	696	1,174	16,802
	枠外	979	2,350	5,386	811	1,840	387	11,752
	時期計	3,925	5,808	12,634	2,091	2,536	1,560	28,554
秋季	回収枠	3,353	2,313	5,914	2,316	4,081	3,345	21,322
	枠外	0	1,885	3,312	1,370	3,000	602	10,169
	時期計	3,353	4,197	9,226	3,686	7,081	3,947	31,490
冬季	回収枠	2,054	3,860	2,841	5,519	3,426	959	18,658
	目視枠	3,662	11,545	10,680	13,050	14,225	1,642	54,804
	枠外	2,200	1,300	8,600	6,050	3,450	1,700	23,300
	時期計	5,862	12,845	19,280	19,100	17,675	3,342	78,104
年間合計		15,984	32,209	47,782	32,824	32,020	9,398	170,217

調査結果＞漂着ごみの回収量（本年度.回収枠内）　（以下、「回収量」は回収枠内の漂着ごみの数量を指す）

ピンク色のセル は、各調査地点を比較した時に、
最も数量の多い地点であることを示す。

本年度の地点別・時期別回収量（種類合計：容量：L）

分類区分 / 調査地点	田ノ浜	青海	修理田浜	上槻	五根緒	ナイラ浜	地点合計
春季	1,836	8,193	5,474	6,559	3,314	548	**25,923**
夏季	2,946	3,458	7,248	1,280	696	1,174	**16,802**
秋季	3,353	2,313	5,914	2,316	4,081	3,345	**21,322**
冬季	2,054	3,860	2,841	5,519	3,426	959	**18,658**
合計	**10,188**	**17,824**	**21,476**	**15,674**	**11,516**	**6,026**	**82,705**

本年度の地点別・種類別回収量（時期合計：容量：L）

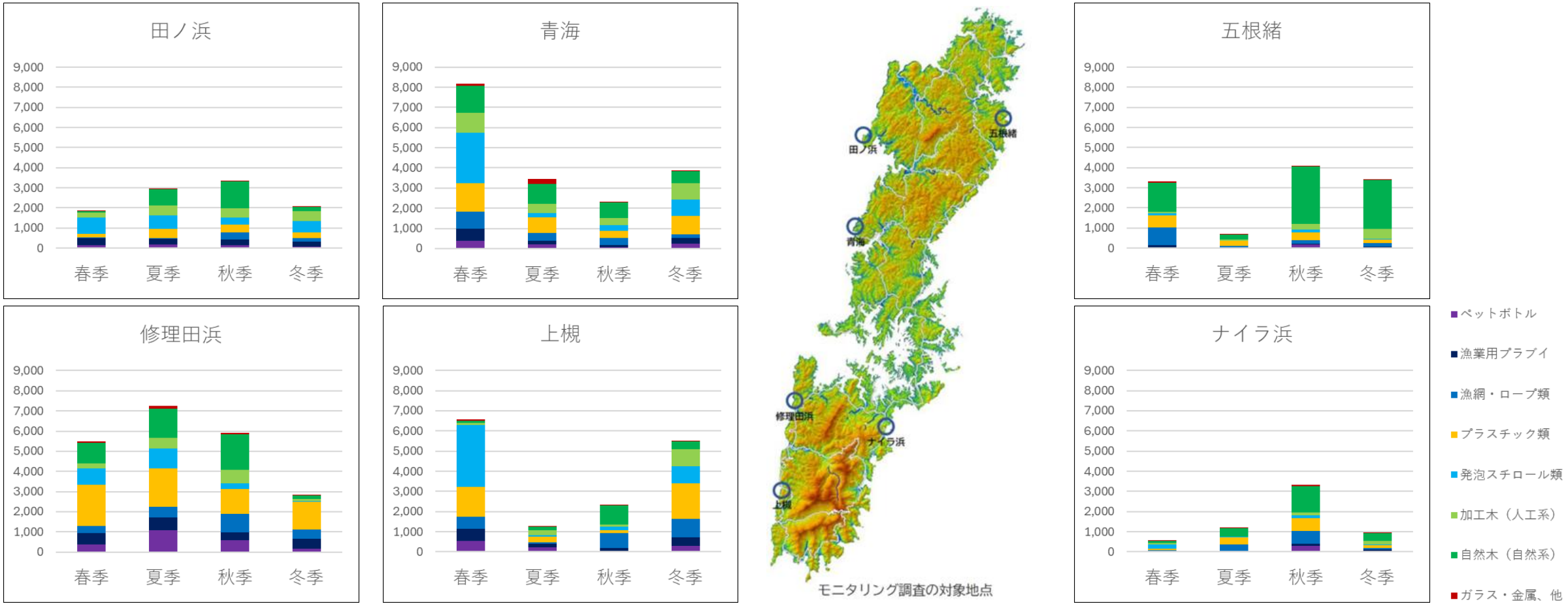
分類区分 / 調査地点	田ノ浜	青海	修理田浜	上槻	五根緒	ナイラ浜	地点合計
ペットボトル	555	926	2,220	1,100	287	363	**5,451**
漁業用プラブイ	1,135	1,153	2,097	1,393	181	240	**6,197**
漁網・ロープ類	634	1,734	2,237	2,268	1,330	1,081	**9,284**
プラスチック類	1,283	3,514	6,574	3,656	1,397	1,199	**17,622**
発泡スチロール類	2,372	3,737	2,084	4,176	275	399	**13,042**
加工木（人工系）	1,708	2,660	1,575	1,321	920	400	**8,584**
自然木（自然系）	2,440	3,670	4,365	1,670	6,989	2,204	**21,338**
ガラス・金属、他	61	431	324	91	138	142	**1,186**
合計	**10,188**	**17,824**	**21,476**	**15,674**	**11,516**	**6,026**	**82,705**

※合計値は表示値未満の数値を含めて計算しているため、表示値の計算結果と必ずしも一致しない

調査結果＞漂着ごみの回収量（本年度）

本年度の地点別・時期別回収量に関して、明確な傾向は見られなかった。
地点別・種類別回収量に関して、**西側海岸では東側海岸と比較してプラスチック類が多く、特に春季に発泡スチロールが多くなる地点が見られた**。一方、**東側海岸では自然木の割合が多くなった**。

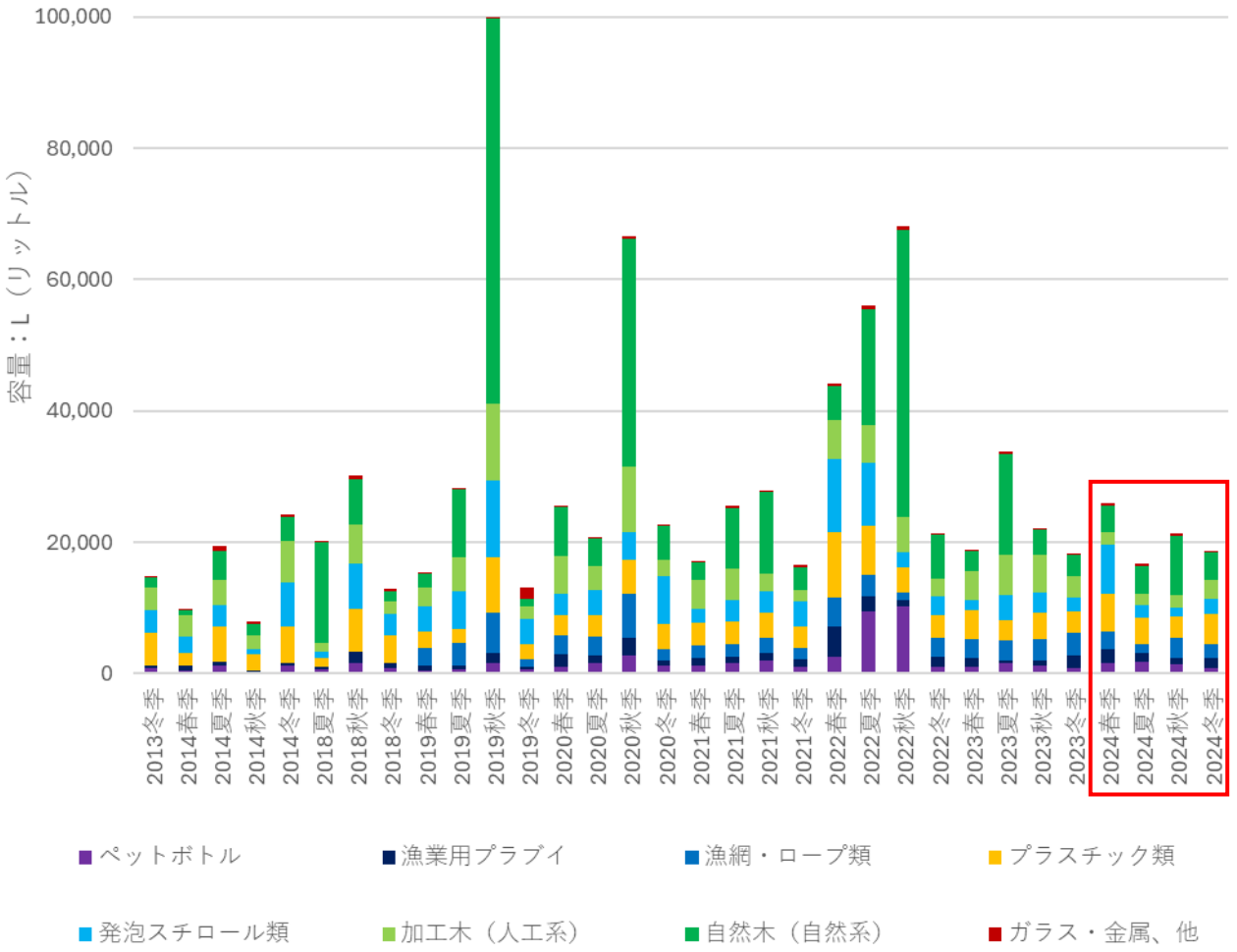
本年度の地点別・種類別・時期別回収量（**容量：L**）



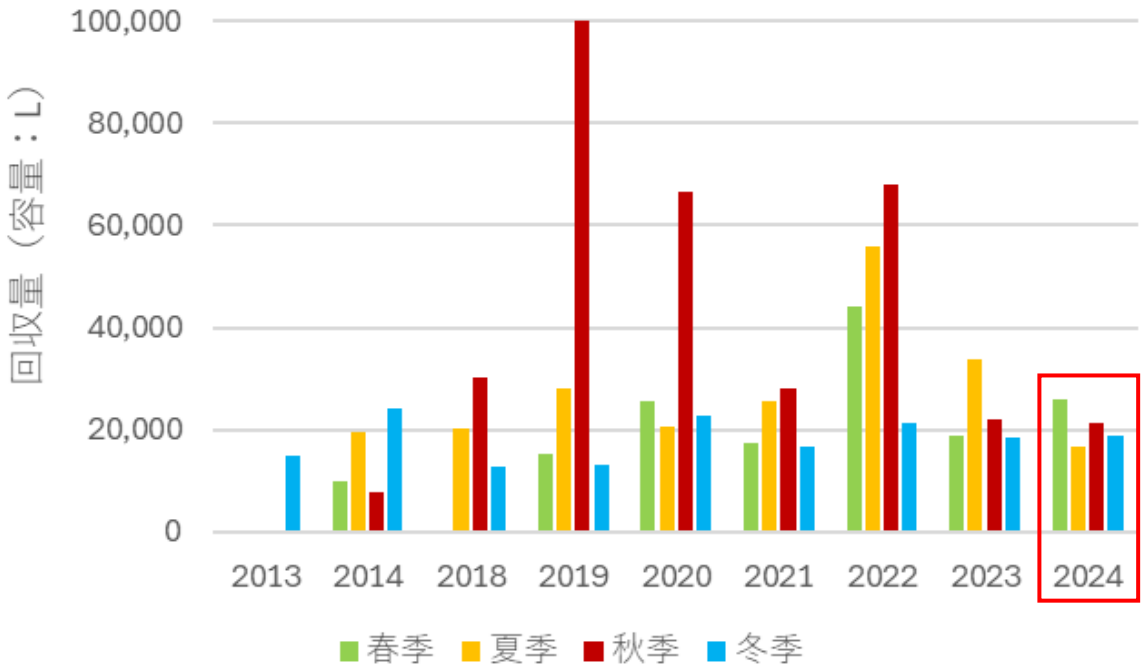
調査結果＞漂着ごみ回収量の過年度比較

本年度調査における漂着ごみの回収量は過年度と比較して平均的な数量であった。
時期別では、過年度は秋季に漂着ごみが多い傾向であるのに対し、**本年度は春季に漂着ごみが最も多かった。**

モニタリング調査による漂着ごみの回収量の推移（種類別）



モニタリング調査による漂着ごみの回収量の推移（時期別）



調査結果＞年間漂着量の推計結果（種類別）

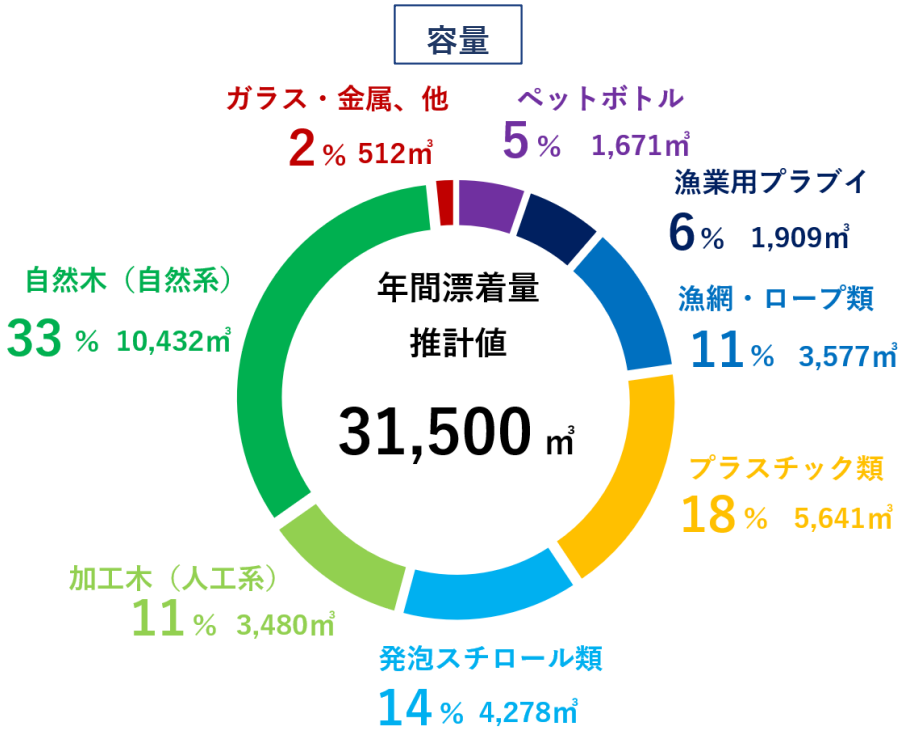
本年度各地点の回収量をもとに全島の年間漂着量を推計した結果、
全島の年間漂着量は容量31,500㎥、重量3,561ｔとなった。

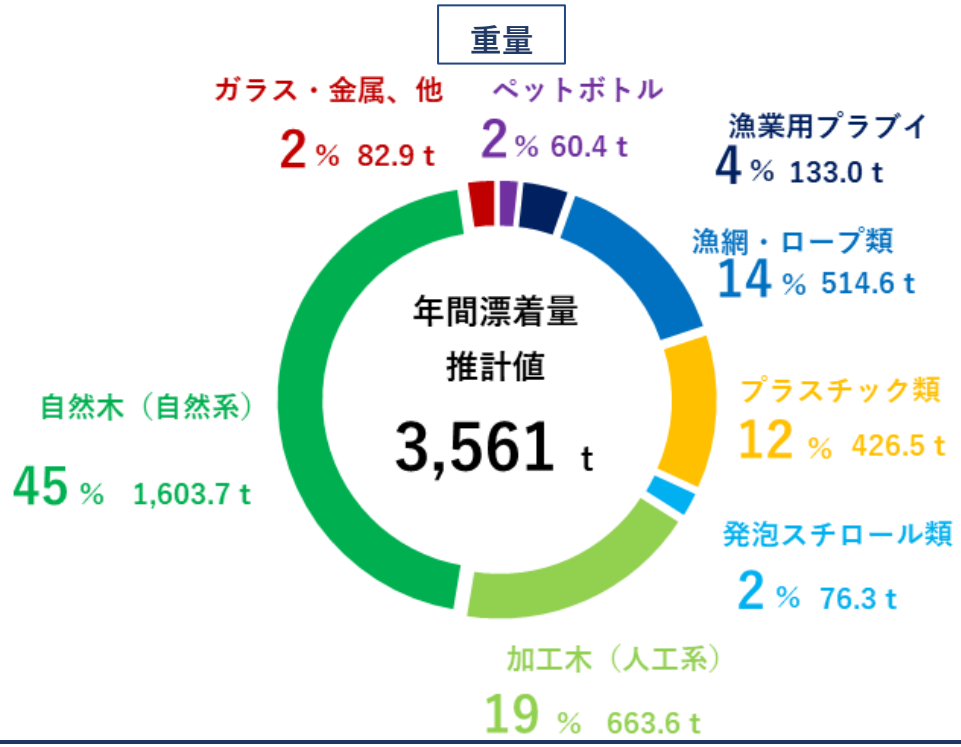
種類別容量の割合は、
自然木33%、プラスチック類18%、発泡スチロール類14%
が上位を占めた。

種類別重量の割合は、
自然木45%、加工木19%、漁網・ロープ類14%
が上位を占めた。

全島の年間漂着量推計結果

漂着ごみの種類	容量（㎥）	重量（ｔ）
ペットボトル	1,671	60.4
漁業用プラブイ	1,909	133.0
漁網・ロープ類	3,577	514.6
プラスチック類	5,641	426.5
発泡スチロール類	4,278	76.3
加工木（人工系）	3,480	663.6
自然木（自然系）	10,432	1,603.7
ガラス・金属、他	512	82.9
合計	31,500	3,561





本年度の年間回収量（6地点合計、4季合計）について、人工物の品目別数量を多い順にランキング化した。
（環境省ガイドラインに示された分類表のうち、「その他＞その他」を除く86品目中、上位10品目を表示）

ランキングの結果、
- **ロープ、ひも（漁具）**
- **飲料用ペットボトル（1L未満）**
- **木材（物流用パレット、木炭等含む）**
- **プラスチック製浮子（ブイ）（漁具）**

が個数・容量・重量に共通して多く、 ※プラスチック（その他）を除く

- **発泡スチロール製フロート、浮子（ブイ）**
- **プラスチック製カゴ**
- **その他のプラボトル類（1L以上）**

が容量・重量に共通して多い結果であった。

品目別回収量（**個数**）・割合ランキング

多い順	品目	個	割合
1	ロープ、ひも（漁具）	12,946	23.0%
2	ボトルのキャップ、ふた	6,452	11.5%
3	ウレタン	3,467	6.2%
4	飲料用（ペットボトル）＜1L	3,310	5.9%
5	プラスチック＞その他	2,914	5.2%
6	テープ（荷造りバンド、ビニールテープ）	2,893	5.1%
7	木材(物流用パレット、木炭等含む)	2,733	4.9%
8	浮子（ブイ）（漁具）	2,586	4.6%
9	食品の容器包装	1,882	3.3%
10	ストロー	1,858	3.3%

品目別回収量（**容量**）・割合ランキング

多い順	品目	容量（L）	割合
1	発泡PSフロート、浮子（ブイ）	10,802	13.1%
2	木材(物流用パレット、木炭等含む)	8,578	10.4%
3	ロープ、ひも（漁具）	8,510	10.3%
4	浮子（ブイ）（漁具）	6,197	7.5%
5	追加項目：プラスチックカゴ	5,021	6.1%
6	その他のプラボトル類≧1L	3,098	3.7%
7	飲料用（ペットボトル）＜1L	3,073	3.7%
8	飲料用（ペットボトル）≧1L	2,378	2.9%
9	発泡スチロールの破片	1,860	2.2%
10	プラスチック＞その他	1,530	1.8%

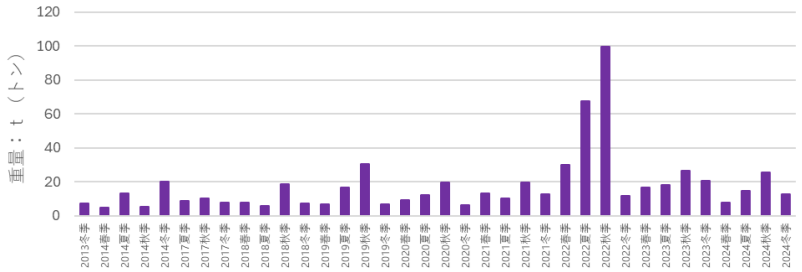
品目別回収量（**重量**）・割合ランキング

多い順	品目	重量（kg）	割合
1	木材(物流用パレット、木炭等含む)	1,622	19.7%
2	ロープ、ひも（漁具）	1,190	14.4%
3	浮子（ブイ）（漁具）	391	4.7%
4	追加項目：プラスチックカゴ	254	3.1%
5	硬質プラスチック破片	180	2.2%
6	発泡PSフロート、浮子（ブイ）	179	2.2%
7	その他のプラボトル類≧1L	149	1.8%
8	プラスチック＞その他	146	1.8%
9	追加項目：プラスチック被覆竹竿	131	1.6%
10	飲料用（ペットボトル）＜1L	129	1.6%

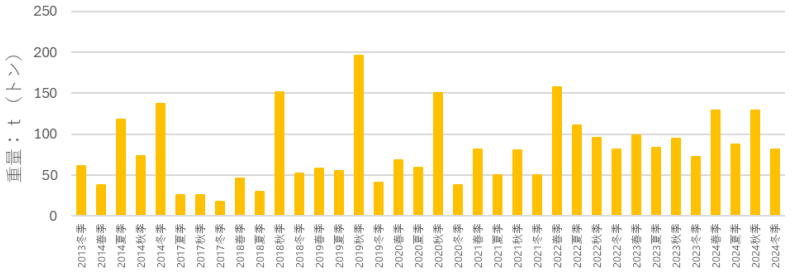
調査結果＞種類別年間漂着量の推移

全島の年間漂着量推計結果（重量）について、種類別の推移をグラフに示した。
増減を繰り返しながら推移しているが、**プラスチック系の漂着ごみは若干の増加傾向**が見られる。
自然木は平均的な時期と比較して、突出して多い時期との数量の差が大きい。

推定漂着量の推移（ペットボトル）

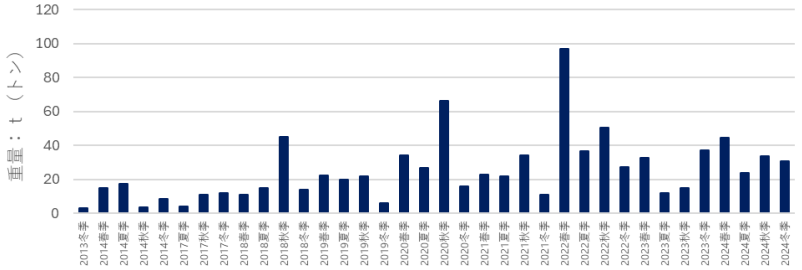


推定漂着量の推移（プラスチック類）

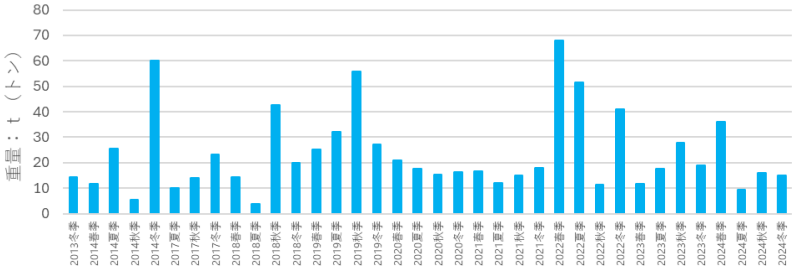


漂着ごみの種類	3カ月当たりの平均漂着量（重量）
ペットボトル	17 t
漁業用プラブイ	25 t
漁網・ロープ類	121 t
プラスチック類	81 t
発泡スチロール類	23 t
加工木（人工系）	215 t
自然木（自然系）	366 t
ガラス・金属、他	22 t

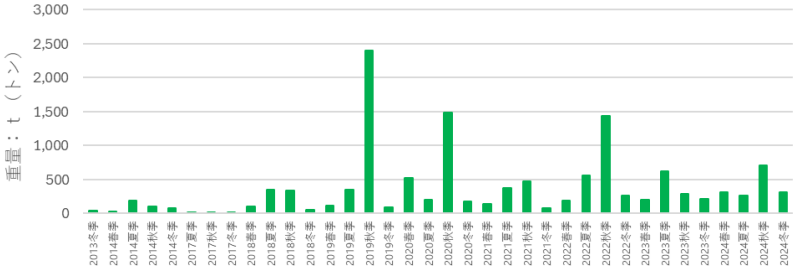
推定漂着量の推移（漁業用プラブイ）



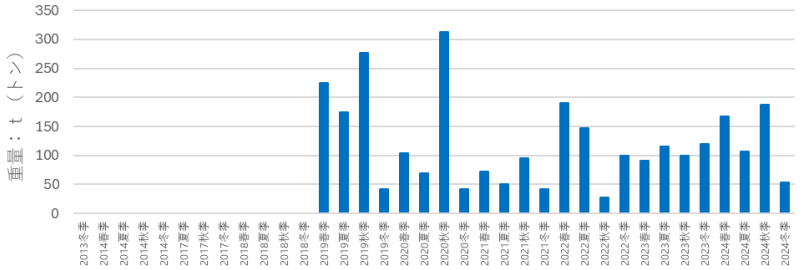
推定漂着量の推移（発泡スチロール類）



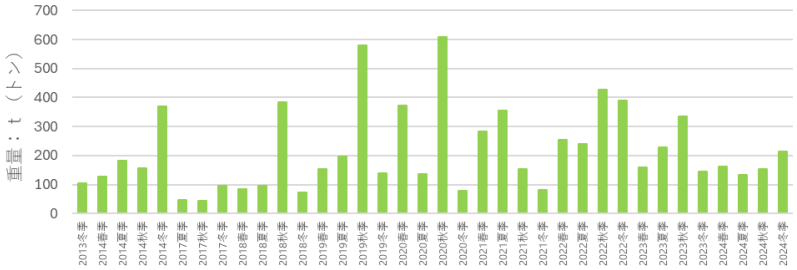
推定漂着量の推移（自然木）



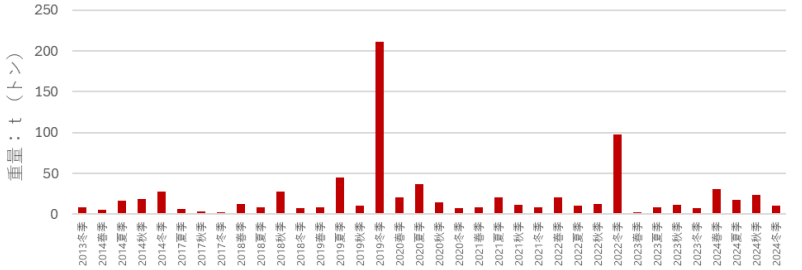
推定漂着量の推移（漁網・ロープ類）



推定漂着量の推移（加工木）



推定漂着量の推移（ガラス・金属、他）



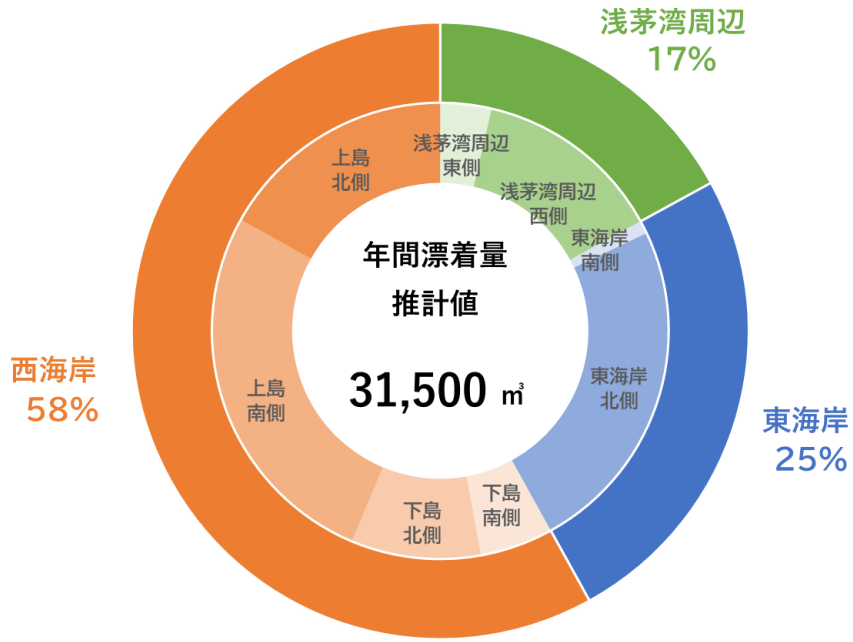
調査結果＞年間漂着量の推計結果（推計区域別）

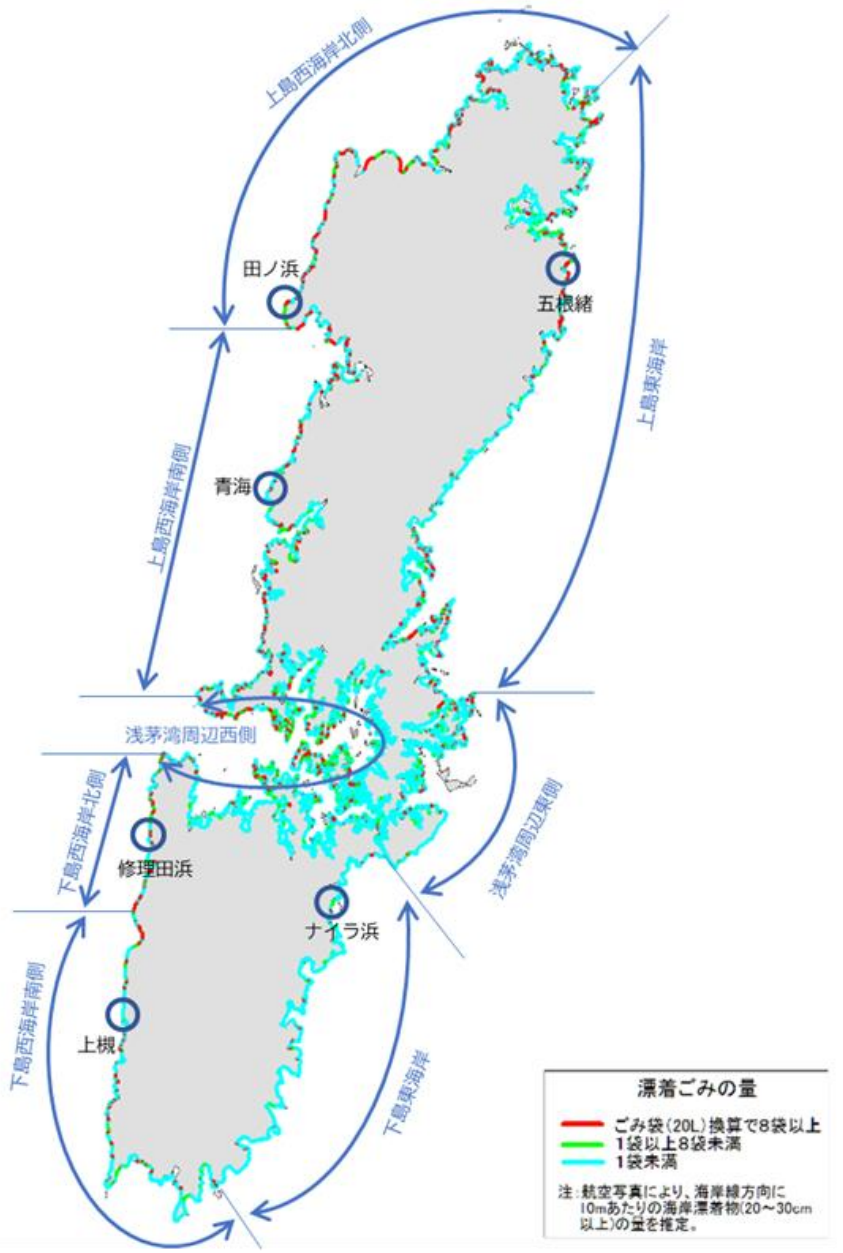
区域別の推定年間漂着量は、**対馬西海岸がおよそ58%**を占め、
対馬東海岸は25%、**浅茅湾周辺は17%**となった。

区域別の年間漂着量（推計値）・割合

推計区域	年間漂着量（容量：㎥）	総量に占める割合（%）
上島西海岸北側	5,325	17%
上島西海岸南側	8,431	27%
下島西海岸北側	2,892	9%
下島西海岸南側	1,633	5%
上島東海岸	7,562	24%
下島東海岸	291	1%
浅茅湾周辺西側	4,224	13%
浅茅湾周辺東側	1,141	4%
合計	31,500	100%

年間漂着量（推計値）の区域別割合





調査結果＞年間再漂流量の推計結果（区域別・種類別）

全島の年間再漂流量の推計結果は、**容量10,444㎥**、**重量668 t** となった。
これは、**年間漂着量の33%が再漂流**していることを表す。

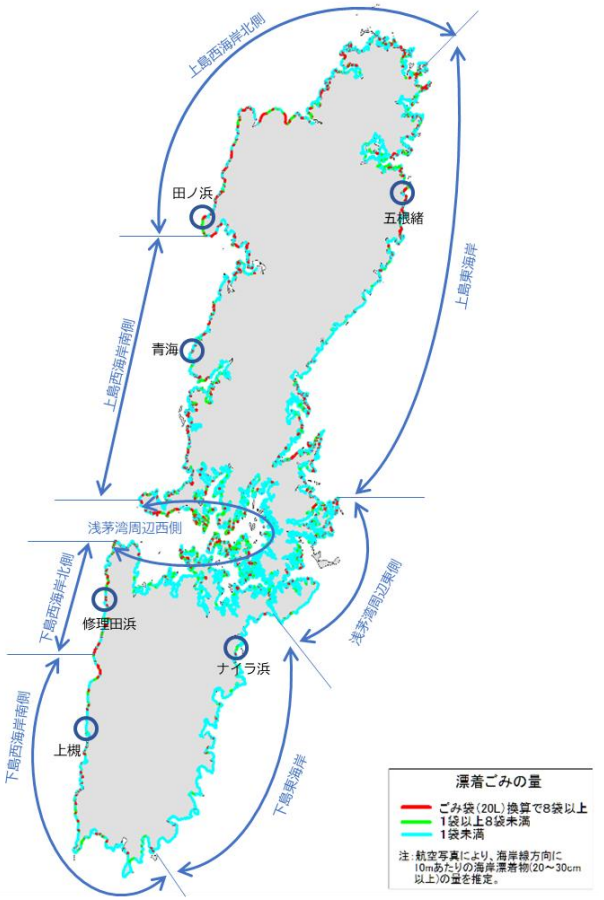
推計区域別の年間再漂流量の推計結果　**容量**　（単位：㎥）

推計区域	上島西海岸		下島西海岸		東海岸		浅茅湾周辺		合計
	北側	南側	北側	南側	北側	南側	西側	東側	
ペットボトル	81	225	211	-10	-74	3	44	12	492
漁業用プラブイ	384	214	161	-68	20	11	163	44	929
漁網・ロープ類	227	536	25	101	53	52	747	202	1,942
プラスチック類	540	574	508	188	-396	45	651	176	2,286
発泡スチロール類	430	1,413	146	201	-49	5	69	19	2,232
木類	1,724	-80	382	-126	-1,373	92	1,335	361	2,314
ガラス・金属、その他	26	88	19	-11	41	4	64	17	249
合計	3,411	2,970	1,454	273	-1,779	212	3,073	830	**10,444**

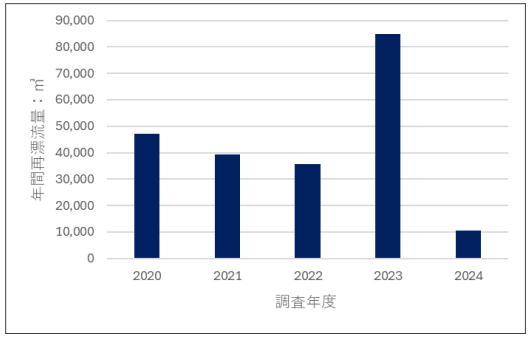
推計区域別の年間再漂流量の推計結果　**重量**　（単位：ｔ）

推計区域	上島西海岸		下島西海岸		東海岸		浅茅湾周辺		合計
	北側	南側	北側	南側	北側	南側	西側	東側	
ペットボトル	2	-2	4	-4	-10	0	3	1	-6
漁業用プラブイ	28	13	5	-10	0	1	15	4	56
漁網・ロープ類	31	70	-7	1	-12	7	108	29	228
プラスチック類	53	-33	30	3	-39	4	55	15	89
発泡スチロール類	4	21	2	1	0	0	0	0	29
木類	345	-95	38	-33	-297	14	204	55	231
ガラス・金属、その他	2	12	3	-3	19	0	6	2	42
合計	466	-15	75	-45	-340	27	392	106	**668**

※表中のマイナスの数値（赤文字）は、目視枠の1年間のごみの増加量が回収枠の1年間の回収量（年4回の回収量）を上回っていたことによる。



年間再漂流量の推移（容量）



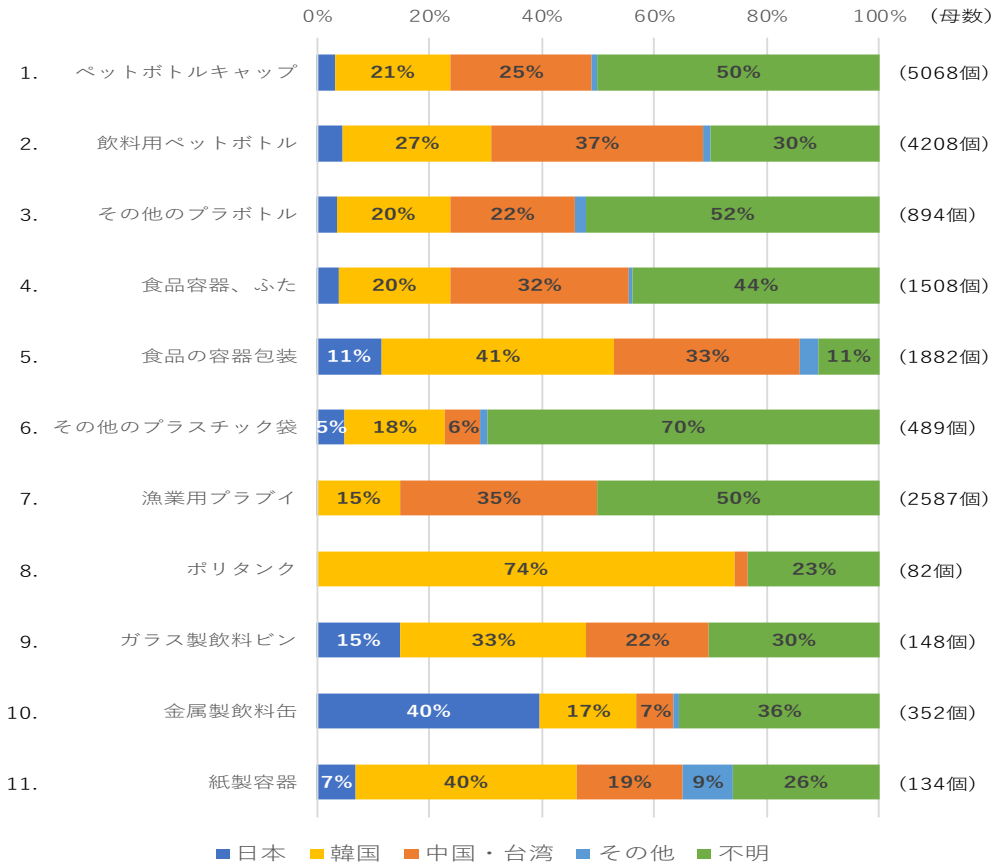
11品目について発生国を調査した結果、
個数では**中国・台湾の飲料用ペットボトルが1,576個**、
中国・台湾のペットボトルキャップが1,267個、
韓国の飲料用ペットボトルが1,120個、
韓国のペットボトルキャップが1,051個の順に多かった。※「不明」を除く

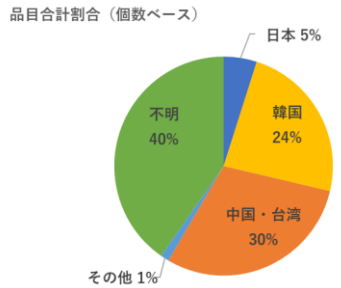
割合では、**韓国のポリタンクが74%**、**韓国の食品の容器包装が41%**、**日本の金属製飲料缶が40%**、**韓国の紙製容器（飲料パック）が40%**の順に多かった。※「不明」を除く

表記言語等調査結果（個数）

単位：個

素材	調査品目	日本	韓国	中国・台湾	その他	不明	計
プラスチック類	ペットボトルキャップ	159	1,051	1,267	52	2,539	5,068
	飲料用ペットボトル	191	1,120	1,576	57	1,264	4,208
	その他のプラボトル	32	179	200	17	466	894
	食品容器、ふた	58	299	480	10	661	1,508
	食品の容器包装	216	781	621	59	205	1,882
	その他のプラスチック袋	24	88	30	6	341	489
	漁業用プラブイ	1	382	910	0	1,294	2,587
	ポリタンク	0	61	2	0	19	82
その他	ガラス製飲料ビン	22	49	32	0	45	148
	金属製飲料缶	140	60	23	4	125	352
	紙製容器	9	53	25	12	35	134
計		852	4,123	5,166	217	6,994	17,352





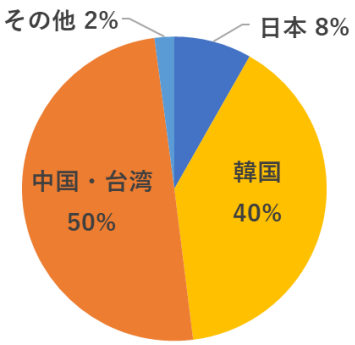
漂着ごみ品目別の発生国割合（個数ベース）

表記言語等調査の結果、11品目合計割合は、発生国が不明であるものを除くと、多い順に**中国・台湾50%**、**韓国40%**、**日本8%**、**その他2%**であった。

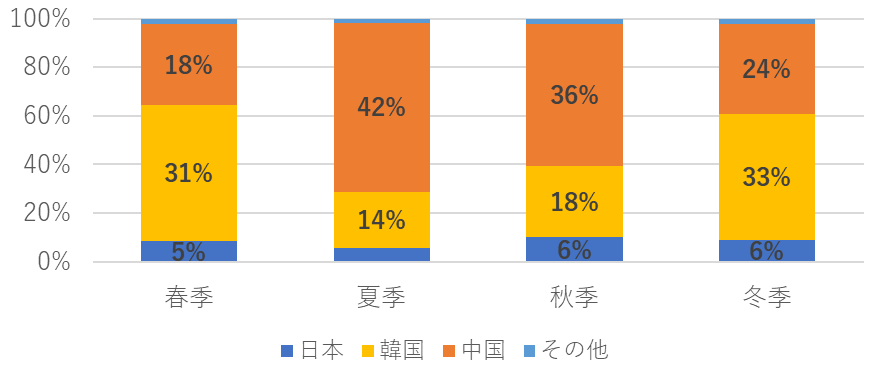
時期別では、**夏季から秋季にかけて中国・台湾のごみが多く**、**冬季～春季にかけて韓国のごみが多い**。

地点別では、**東側海岸で日本のごみの割合が多く**、韓国から最も遠い位置の**ナイラ浜では韓国のごみの割合が少なく**なった。

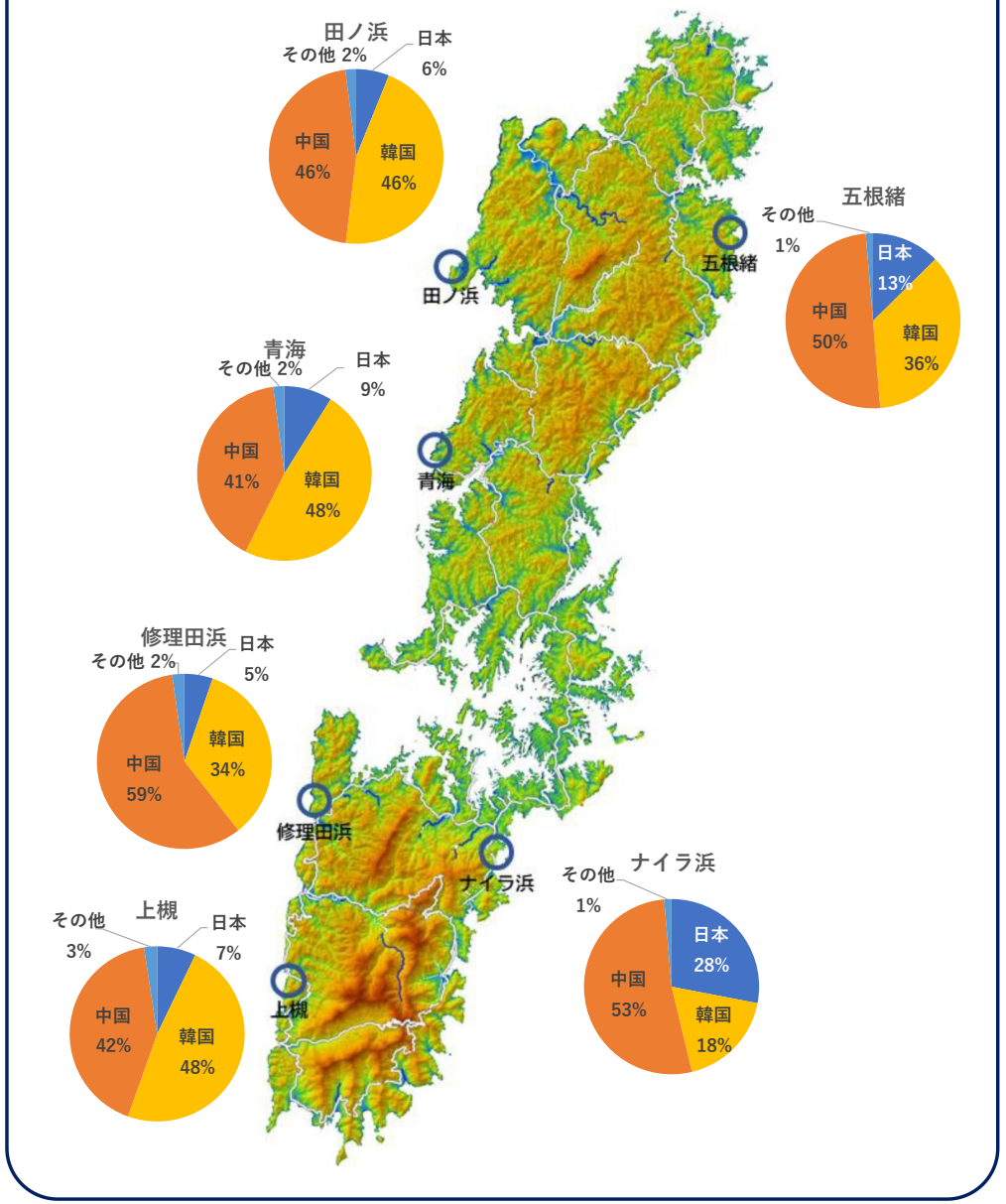
品目合計割合（個数ベース、不明を除く）



時期ごとの国別割合（個数ベース、不明を除く）



地点ごとの発生国割合（不明を除く）



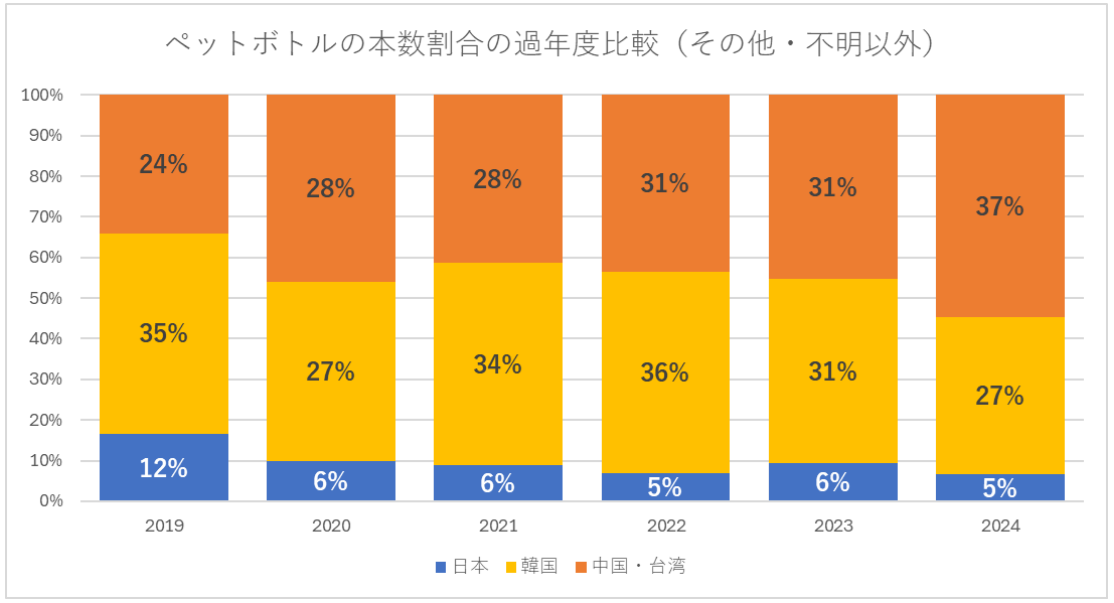
ペットボトルは、**中国・台湾製の割合が近年増加傾向**にある。
金属製飲料缶は日本製が最も多い。

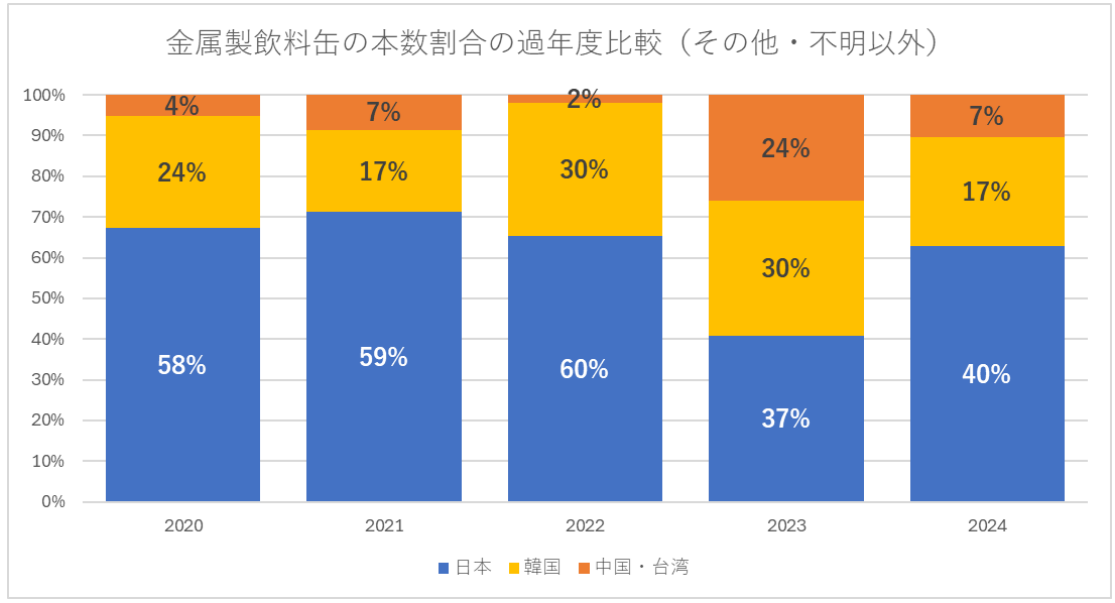
ペットボトル回収量の過年度比較（単位：本）

年度	日本	韓国	中国・台湾	その他	不明	計
2019	476	1,418	976	44	1,130	4,044
2020	263	1,163	1,220	80	1,565	4,291
2021	202	1,135	945	49	1,003	3,334
2022	420	3,074	2,695	81	2,319	8,589
2023	162	791	791	570	241	2,555
2024	191	1,120	1,577	57	1,264	4,209

金属製飲料缶回収量の過年度比較（単位：本）

年度	日本	韓国	中国・台湾	その他	不明	計
2020	158	65	12	37	0	272
2021	158	45	19	46	0	268
2022	160	80	5	0	21	266
2023	47	38	30	12	0	127
2024	140	60	23	4	125	352

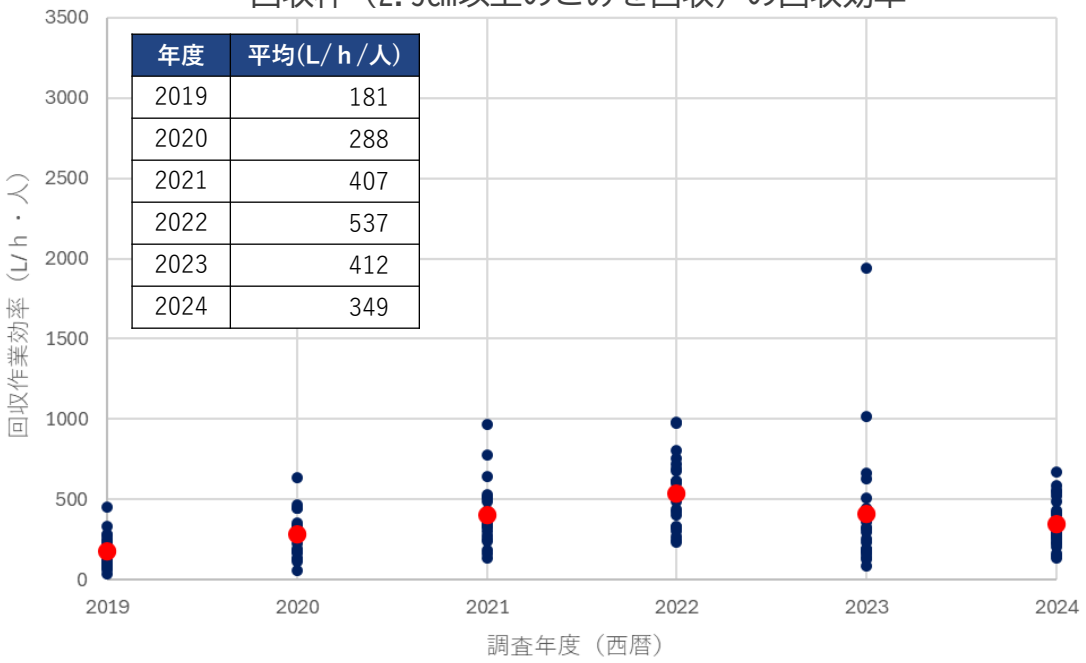




本年度調査における回収作業の効率は、**回収枠内（2.5㎝以上のごみを回収）においては、349L/h/人**となり、**調査枠外（およそ15㎝以上のごみを回収）においては、1,051L/h/人**となった。

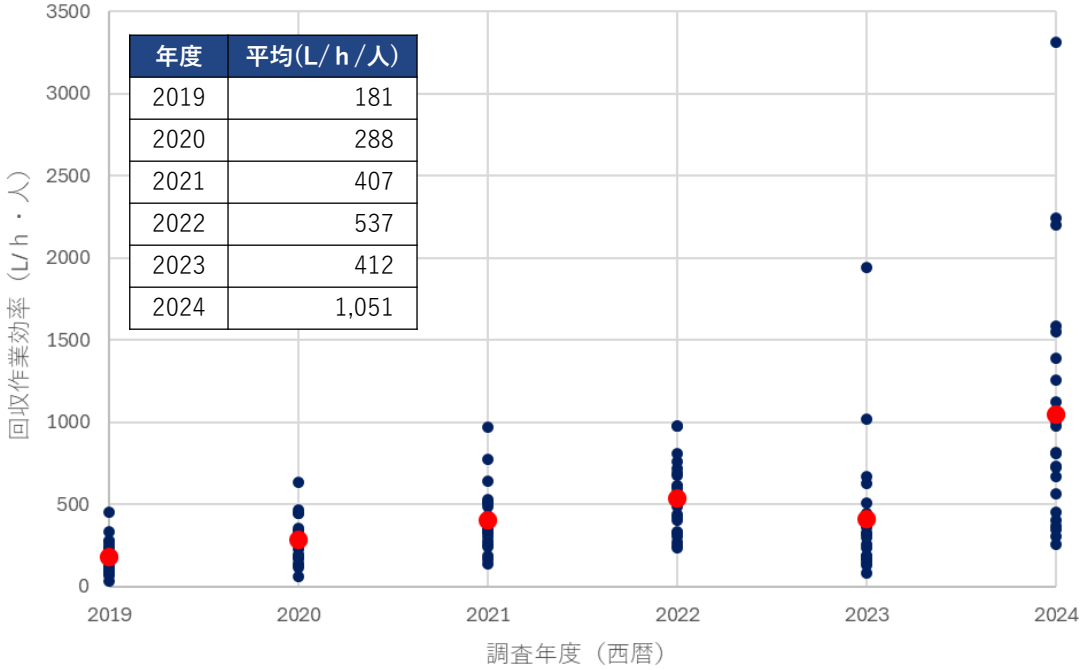
回収枠（2.5㎝以上のごみを回収）の回収効率

年度	平均(L/h/人)
2019	181
2020	288
2021	407
2022	537
2023	412
2024	349



調査枠外（主に15㎝以上のごみを回収）の回収効率

年度	平均(L/h/人)
2019	181
2020	288
2021	407
2022	537
2023	412
2024	1,051



※2023年度以前は枠外のごみの回収数量の記録がないため、比較のために回収枠内の回収効率の数値を用いた

青い点は回収作業1回の回収効率を示し、赤い点はその年の回収効率の平均値を示す。

春季から夏季までの定点観測の結果、1か月以上漂着ごみの様子に大きな変化が見られないことがある一方、
荒天時には数時間から数日の間に漂着ごみが大量に漂着する様子が確認された。

春季（撮影テスト）

地点	撮影開始日	撮影終了日	撮影期間（日）	回収調査日	特記事項、漂着ごみの動態、海岸の状況
田ノ浜	05/24	07/22	59	05/24	カメラ日時設定不良
青海	05/21	07/22	62	05/21	カメラ日時設定不良、6/23、7/2前日の荒天によりごみの漂着と海岸内での移動が確認された。
修理田	05/22	07/21	59	05/22	カメラ日時設定不良、6/23前日の荒天後ごみの漂着を確認。
上槻	05/25	07/22	57	05/25	5/27大きく軽い漂着ごみ（画面右手前）が風の影響により画面外に移動。
五根緒	05/24	07/22	58	05/24	カメラ時刻表示不良、6/1以降ごみが大量に漂着。6/30前日の大雨により地形が変化。
ナイラ浜	05/25	07/18	53	05/25	カメラ日時設定不良・ソーラー充電不良、6/28海岸内で崖崩れが発生。

夏季

地点	撮影開始日	撮影終了日	撮影期間（日）	回収調査日	特記事項、漂着ごみの動態、海岸の状況
田ノ浜	07/22	08/06	14	08/06	7/28満潮時にごみが陸側に集積。
青海	07/22	08/08	16	08/08	7/26前日の雨天により海岸内に水たまりが発生し、ごみが海岸中央帯に集積。
修理田	07/22	08/08	17	08/09	カメラ日時設定不良
上槻	07/22	08/10	18	08/10	
五根緒	07/22	08/06	14	08/06	
ナイラ浜	07/22	07/23	1	08/05	ソーラー充電不良

調査結果＞定点観測（秋季～冬季）

秋季から冬季までの定点観測の結果、満潮と荒天による高波が重なった際には**短時間のうちに漂着ごみが大量に漂着**するほか、**ナイラ浜でほとんどすべてのごみが再漂流する様子**が確認された。また、**海岸内で比重の軽いごみが30～50m程度の距離を移動**する様子が確認された。

秋季

地点	撮影開始日	撮影終了日	撮影期間（日）	回収調査日	特記事項、漂着ごみの動態、海岸の状況
田ノ浜	08/06	10/30	84	10/30	カメラ日時設定不良、カメラ設置場所変更、画角ズレ発生
青海	08/08	10/31	83	10/31	カメラ設置場所変更、画角ズレ発生、8/21一晩の間に漂着ごみが増加した。
修理田	08/09	10/20	72	10/25	ソーラー充電不良、8/21一晩の間に漂着ごみが大幅に増加。
上槻	08/10	10/24	75	10/24	8/21潮位の影響により海岸陸側に漂着ごみが移動・再漂流・再漂着が確認された。
五根緒	08/06	10/04	59	10/30	画角ズレ発生、カメラおよびソーラーパネル破損、8/12海岸中央付近にごみが漂着。
ナイラ浜	08/05	10/22	77	10/26	ソーラー充電不良、8/30大部分のごみが再漂流。9/3再漂流によりごみが無い状態。

冬季

地点	撮影開始日	撮影終了日	撮影期間（日）	回収調査日	特記事項、漂着ごみの動態、海岸の状況
田ノ浜	10/30	01/06	68	01/08	1/6徐々に漂着ごみが増加する様子が確認された。
青海	-	-	-	01/10	カメラ破損により撮影データなし
修理田	10/25	12/28	64	01/12	12/28時折、風の影響により漂着ごみが海岸内で長い距離（30m以上）を移動する様子が見られた。
上槻	10/24	01/11	79	01/11	
五根緒	10/30	01/07	69	01/07	カメラ交換、4Kにて撮影、11/4前々日・前日の干満の影響によりごみが陸側に打ち寄せられた。
ナイラ浜	10/26	01/08	74	01/09	

1　調査方法

2　調査結果

3　考察

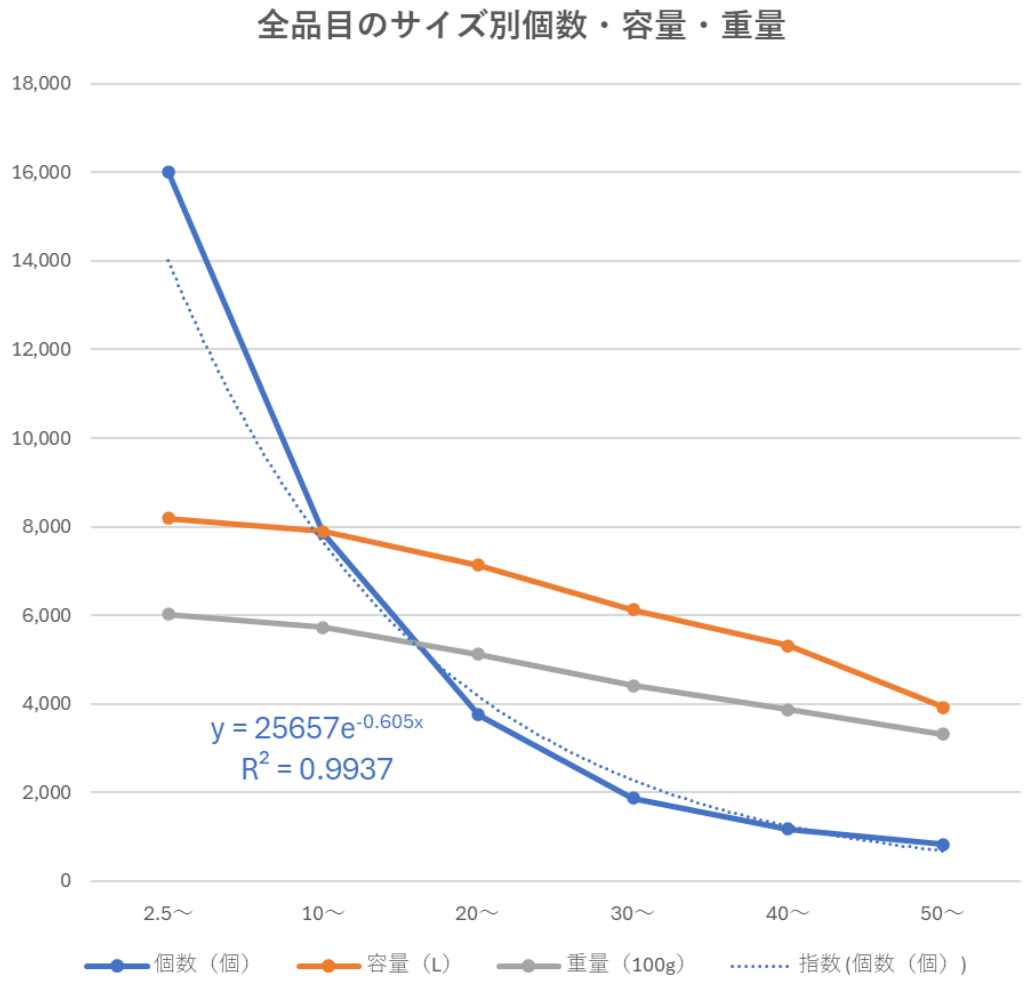
本年度モニタリング調査の春季調査において最も回収量の多かった地点（青海）の回収サンプル全品目を対象に、漂着ごみのサイズと個数・容量・重量の関係を調査した。

漂着ごみのサイズごとの個数・容量・重量

サイズ（cm）	2.5～	10～	20～	30～	40～	50～	100～
個数（個）	16,015	7,848	3,754	1,873	1,179	831	246
容量（L）	8,193	7,891	7,134	6,127	5,310	3,925	1,420
重量（g）/100	6,019	5,724	5,122	4,410	3,875	3,319	1,901

漂着ごみの総量に占めるサイズ別割合

サイズ（cm）	2.5～	10～	20～	30～	40～	50～	100～
個数総数に占める割合（%）	100%	49%	23%	12%	7%	5%	2%
容量総数に占める割合（%）	100%	96%	87%	75%	65%	48%	17%
重量総数に占める割合（g）	100%	95%	85%	73%	64%	55%	32%



調査の結果、（漂着ごみの個数が回収効率と相関関係があると仮定すると）2.5cm以上のごみを回収する場合と比較して、
10cm以上のごみを回収する場合、95%以上のごみを回収でき、
作業効率は最大2倍になることが予想される。
20cm以上のごみを回収する場合には85%以上のごみを回収でき、
作業効率は最大4倍になることが予想される。

容量・重量が多い20cm以上のごみは、回収事業で重機などを用いて回収することで、効率UPと回収量の増加が期待でき、
個数は多いが容量・重量が少ない（作業負担の少ない）20cm未満のごみは、ボランティアが回収するなどの対策が考えられる。

本年度モニタリング調査において回収したごみの数量を基に算出された**リサイクル率（容量比）は37.26%**となった。

番号	品目	容量（L）	容量割合（%）	重量（kg）	重量割合（%）	リサイクル方法
1	ペットボトルキャップ	99	0.12%	14	0.17%	色別に分別・異物除去後、破砕してチップを売却。
2	ペットボトル＜1L	3,073	3.72%	129	1.57%	キャップ・ラベルを分別し、異物除去後に圧縮梱包して売却。（計画・試験中）
3	ペットボトル≧1L	2,378	2.88%	59	0.71%	キャップ・ラベルを分別し、異物除去後に圧縮梱包して売却。（計画・試験中）
4	プラブイ　20㎝以上	5,923	7.16%	350	4.24%	色別に分別・異物除去後、破砕してチップを売却。
5	アナゴ漁具	791	0.96%	40	0.48%	異物除去後、破砕してチップを売却
6	ポリタンク	2,552	3.09%	106	1.28%	色別に分別・異物除去後、破砕してチップを売却。
7	プラカゴ	5,021	6.07%	254	3.08%	色別に分別・異物除去後、破砕してチップを売却。
8	発泡スチロール（40㎝以上）	10,802	13.06%	179	2.17%	2024年９月下旬より溶融インゴット化。インゴットを売却
9	飲料用ビン	86	0.10%	25	0.30%	色別に分別・異物除去後、破砕して売却。
10	アルミ飲料缶	81	0.10%	4	0.05%	選別後、圧縮して売却
11	スチール飲料缶	8	0.01%	1	0.01%	選別後、圧縮して売却
合計		30,813	37.26%	1,160	14.07%	

注1）「リサイクル対象品目」は「組成調査の分類表」の分類項目に示した品目名であり、実際にリサイクル処理に用いられている名称ではない。

注2）「リサイクル率」は、実際にリサイクルが完了した数量に基づくものではなく、対象品目の数量が全量に占める割合を示したものである。

注3）表に示した品目のうち、全量がリサイクルされない場合もある。（例：アナゴ漁具のうち、蓋以外の部分は対象ではない。リサイクルの基準に満たない品質のものは対象外）

注4）上記表の数量および割合は、本年度モニタリング調査によって回収枠内で回収された漂着ごみの数量および割合であり、対馬市の回収事業、その他ボランティア回収による数量等は反映されていない。

木類（自然木、加工木）、および、漁網・ロープ類は現在リサイクル方法を検討中であるが、リサイクルが可能となった場合には、リサイクル率の大幅な向上を見込むことができる。

ポリタンクは、ほぼ韓国製であり、漁業に起因するものと考えられる。
漁業用プラブイは中国製が7割、韓国製が3割を占め、日本製はほとんど見られない。

日本製の漂着ごみは、食品の容器包装が最も多い。
韓国製、および、中国・台湾製の漂着ごみは、飲料用ペットボトルが最も多い。
飲食後のごみの管理を徹底する等の対策が重要と考えられる。

※上記は表記言語等調査（11品目、個数ベース）に基づく考察結果を示している。

表記言語等調査結果（不明を除く）の品目ごとの総量に占める割合（個数ベース）

素材	調査品目	日本	韓国	中国・台湾	その他	計
プラスチック類	ペットボトルキャップ	6%	42%	50%	2%	100%
	飲料用ペットボトル	6%	38%	54%	2%	100%
	その他のプラボトル	7%	42%	47%	4%	100%
	食品容器、ふた	7%	35%	57%	1%	100%
	食品の容器包装	13%	47%	37%	4%	100%
	その他のプラスチック袋	16%	59%	20%	4%	100%
	漁業用プラブイ	0%	30%	70%	0%	100%
	ポリタンク	0%	97%	3%	0%	100%
その他	ガラス製飲料ビン	21%	48%	31%	0%	100%
	金属製飲料缶	62%	26%	10%	2%	100%
	紙製容器	9%	54%	25%	12%	100%

日本製のごみランキング
（11品目中上位5品目）

多い順	品目名	個数
1	食品の容器包装	216
2	飲料用ペットボトル	191
3	ペットボトルキャップ	159
4	金属製飲料缶	140
5	食品容器、ふた	58

韓国製のごみランキング
（11品目中上位5品目）

多い順	品目名	個数
1	飲料用ペットボトル	1,120
2	ペットボトルキャップ	1,051
3	食品の容器包装	781
4	漁業用プラブイ	382
5	食品容器、ふた	299

中国・台湾製のごみランキング
（11品目中上位5品目）

多い順	品目名	個数
1	飲料用ペットボトル	1,576
2	ペットボトルキャップ	1,267
3	漁業用プラブイ	910
4	食品の容器包装	621
5	食品容器、ふた	480